

第２回津波防災地域づくりに係る技術検討会 議事要旨

日 時：平成２３年１１月２８日（月）１７：００～１９：００

場 所：中央合同庁舎３号館 特別会議室

＜建築物等の前面における津波のせき上げ高の評価手法について＞

- 基準水位を算定するためにせき上げ高を評価する方法として、比エネルギーを用いる考えは適切と考えられる。
- そのための関係式については、過大・過小な設定とならないように留意しながら引き続き検討を進め、次回検討会では全体とりまとめ案にて議論することとする。

＜特定開発行為の地盤部分となる盛土・切土について＞

- がけ面・のり面の浸食については、津波の流れによる作用に対して、芝張りによる保護で抵抗することができるかと大局的には考えられる。
- 隅角部の洗掘については、洗掘深の評価に加え、根固工を含む各種対策の検討を進め、次回検討会で議論することとする。
- 越流によるがけ下の洗掘については、引き波時を想定した追加検討を行う。
- 浸透による破壊については、基本的には既存の技術基準によれば安全と考えられるが、引き続き浸透に関して留意すべき事項の検討を進めることとする。

＜津波防護施設について＞

- 津波防護施設の性格をより明確にするため、資料中の表現を修正した上で、技術上の基準の策定に際して実施する予定であるパブリックコメントに向けて、資料の準備を進めることとする。

以 上